

平成 20 年 2 月 28 日

各 位

会 社 名 佐 渡 汽 船 株 式 会 社
代 表 者 の 代 表 取 締 役 社 長 戸 田 正 之
役 職 ・ 氏 名
(J A S D A Q コード番号 9 1 7 6)
問 合 せ 先 取 締 役 総 務 部 長 渡 辺 秀 夫
役 職 ・ 氏 名
電 話 番 号 0 2 5 - 2 4 5 - 2 3 1 1

平成 1 9 年 1 2 月 期 通 期 (連 結 ・ 個 別) 業 績 予 想 の 修 正
並 び に 特 別 損 益 の 発 生 に 関 す る お 知 ら せ

平成 19 年 12 月 期 通 期 (平 成 19 年 1 月 1 日 ~ 平 成 19 年 12 月 31 日) の 業 績 予 想 (連 結 ・ 個 別) に つ い て、平 成 19 年 11 月 29 日 付 に て 発 表 い た し ま し た 業 績 予 想 を 下 記 の と お り 修 正 い た し ま す。

な お、特 別 損 益 が 発 生 い た し ま し た の で 併 せ て お 知 ら せ い た し ま す。

記

1 . 平 成 19 年 12 月 期 通 期 連 結 業 績 予 想 数 値 の 修 正 (平 成 19 年 1 月 1 日 ~ 平 成 19 年 12 月 31 日)

(百 万 円 未 満 切 捨)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 予 想 (A) (平 成 19 年 11 月 29 日 発 表)	百 万 円 9,231	百 万 円 81	百 万 円 178	百 万 円 138
今 回 修 正 (B)	9,303	192	55	315
増 減 額 (B - A)	72	111	123	177
増 減 率 (%)	0.8	137.0	-	128.3
(参 考) 平 成 18 年 12 月 期	9,445	273	233	1,664

2 . 平 成 19 年 12 月 期 通 期 個 別 業 績 予 想 数 値 の 修 正 (平 成 19 年 1 月 1 日 ~ 平 成 19 年 12 月 31 日)

(百 万 円 未 満 切 捨)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 予 想 (A) (平 成 19 年 11 月 29 日 発 表)	百 万 円 8,585	百 万 円 44	百 万 円 198	百 万 円 126
今 回 修 正 (B)	8,649	169	55	297
増 減 額 (B - A)	64	125	143	171
増 減 率 (%)	0.7	284.1	-	135.7
(参 考) 平 成 18 年 12 月 期	8,734	200	45	1,620

3. 通期業績予想数値の修正理由

(1) 連結業績予想について

平成 19 年 12 月期通期の売上高は、小木直江津航路あり方検討会議に基づく優待乗船券等を活用した活性化策の効果などにより、輸送人員、車両航送台数が前回予想を上回ったことから、増加いたしました。

営業利益につきましては、売上高の増加に加え、前回予想時点において原油価格が高騰傾向にあったことから船舶燃料費の更なる増加を見込んでいたものの、原油価格の上昇が想定よりも低く収まったこと及び作業工程の見直しなどに伴う船舶修繕費が当初見込みを下回ったことなどから増加いたしました。

経常利益につきましては、前述の理由に加え、平成 19 年 11 月 27 日に効力を発生した株式交換及び平成 19 年 12 月 7 日に払込みを完了した第三者割当増資による新株発行に係る費用が前回予想を下回ったことなどから損失が減少いたしました。

当期純利益につきましては、前述の理由に加えて、関係会社整理損失引当金の対象となった当社持分法適用関連会社であった三盛館株式会社の整理進捗に伴い、当社が負担する損失見込額が減少したため、戻入額 25,330 千円を関係会社整理損失引当金取崩益として特別利益に計上いたしました。その結果、前回予想と比べて当期純利益は増加いたしました。

以上の理由により、売上高 9,303 百万円、営業利益 192 百万円、経常利益 55 百万円、当期純利益 315 百万円に修正いたします。

(2) 個別業績予想について

連結業績予想と同様の理由により、平成 19 年 12 月期通期の個別業績予想を売上高 8,649 百万円、営業利益 169 百万円、経常利益 55 百万円、当期純利益 297 百万円に修正いたします。

4. 特別利益の発生について

(1) 関係会社整理損失引当金の対象となった三盛館株式会社の整理進捗に伴い、当社が負担する損失見込額が減少したため、戻入額 25,330 千円を関係会社整理損失引当金取崩益として特別利益に計上しております。

(2) 第 3 四半期末において、債務保証損失引当金取崩益 47,313 千円を特別利益に計上していましたが、当連結会計年度末において、債務保証損失引当金の洗替えを行った結果、15,771 千円を増加し 63,084 千円を計上しております。

5. 特別損失の発生について

第 3 四半期末において、貸倒引当金繰入額 25,000 千円を特別損失に計上していましたが、当連結会計年度末において、取引先にかかる債権の回収可能性を見直した結果、26,385 千円増加し 51,385 千円を計上しております。

以 上